

ぎかいの木

CONTENTS

9月定例会の審議……………P2～3
常任委員会審査報告……………P4～5
決算特別委員会……………P6～7
一般質問……………P8～11
所管事務調査報告……………P12
第2回全員協議会……………P13
議会報告会のお知らせ……………P14

NO.84 令和6年11月1日号

9月定例会などの内容をお伝えします。



史跡 五義民首切塚 (坊沢地区)

旧暦11月6日、その日は朝からみぞれの降る寒い日だったと文献に残る。
今から三百年前、飢饉の折から領主に「免税」を直訴した五人の村人の処刑が行われた。
三百回忌慰霊式典は11月6日に執り行われる。



「認定第1号 令和5年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について」の起立採決

令和6年度一般会計予算 災害関連補正予算など

30億1973万7千円を追加

▼令和6年度一般会計予算

今定例会に上程された令和6年度一般会計予算は、30億1973万7千円を追加し、総額は270億3043万2千円となりました。

補正予算の主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
森吉山荘設備等調査委託	3,347千円
道の駅たかのす調査測量設計委託	14,944千円
道の駅たかのす用地補償調査委託	14,893千円
河川浚渫事業	12,080千円
住宅リフォーム支援事業補助金	5,000千円

令和6年 9月定例会

令和6年北秋田市議会9月定例会は、9月3日から9月27日までの25日間の会期で行われました。

今定例会では、承認2件、条例案4件、補正予算案13件、単行議案3件、報告4件、認定19件のほか、最終日には、補正予算案2件、人事案件1件などが提出され、いずれも原案のとおり承認、可決、認定及び同意としました。

また、請願1件及び陳情1件については、いずれも採択し、意見書を提出することとしました。

9月定例会の主な議事

- 専決処分承認を求めることについて（令和6年度一般会計補正予算（第3号・第4号））
- 北秋田市災害弔慰金の支給等に関する条例及び北秋田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和6年度一般会計補正予算（第5号・第6号）
- 令和6年度各特別会計補正予算
- 令和6年度各事業会計補正予算
- 工事の委託に関する契約の変更について（三両橋架替工事委託）
- 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
- 令和5年度各会計決算の認定（19会計）
- 人権擁護委員候補者の推薦について

9月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 議案名	採決結果	清明会					新創会			日本共産党議員団		公明党	無党派					
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	蛇川 敬	杉刈 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋範子	福田 牧子	福岡 由巳	五代儀義富
※議長は採決には加わりません。																		
議案第78号 北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
議案第80号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
議案第95号 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第1号 令和5年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	▼	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第17号 令和5年度北秋田市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	▼	○	○	○	●	●	●	○	●	○

賛成・反対討論

▼議案第78号

反対討論 板垣 淳 議員

紙の保険証廃止に国民の7割が反対している。我が市議会も昨年『紙の保険証を残すことを求める意見書』を政府に送付した。よって、紙の保険証廃止を認めるのは矛盾する。

反対討論 福岡 由巳 議員

デジタル技術の活用は否定できないが、マイナンバーをめぐる紐付け誤りや大量の個人情報等問題が拡大している。マイナ保険証はメリットの乏しさや不信があり、保険証の廃止は時期尚早である。

▼議案第80号

反対討論 三浦 倫美 議員

道の駅たかのすアウトドア拠点計画調査費約3000万円に反対。民間事業者所有の建物の建て替えや、モンベル直営店入居スペース建設費追加で以前の計画の約14億円を超える。民間事業者との在り方に疑問。

賛成討論

福岡 由巳 議員

道の駅たかのすの老朽化対策設計委託はやむを得ない。但し、国道7号線の交通量激減、道の駅ふたついの存在から中途半端な設計ならば客数減少は必至。設計委託の前に計画の再検討が必要である。

▼議案第95号

反対討論 福岡 由巳 議員

後期高齢者のマイナ保険証による資格確認はいまだ1けた台であるはず。後期高齢者のデジタル社会への対応はまだまだ時間がかかる。マイナ保険証の押し押しをやめ、現行保険証の継続を求める。

▼認定第1号

反対討論 板垣 淳 議員

税金を市民のために有効に使うのが市の仕事だが、歳入―歳出の収支残額が例年の2倍、16億円もあった。敬老式廃止など市民のための福祉政策が軽んじられたことは認められない。

反対討論

福岡 由巳 議員

不認定の最大の理由は、市が掲げる「住民が主役」に反し、市民の血税を有効に使わない歳出が目立つこと。ほかに、財政の弾力性を欠き、市民病院の減価却費が不明朗、指定管理者等が山積している。

▼認定第17号

反対討論 久留嶋 範子 議員

市民病院は地域医療を支えるために無くてはならない病院。経営強化プランでも医師不足により、多くの患者が地域外での受診を余儀なくされていると指摘。必要な医師確保が喫緊の課題だ。

反対討論 福岡 由巳 議員

常勤医、常勤嘱託医計18名では依然、医師不足。職員も前年度比で多く減少し、患者へ支障をきたしている。ほかに、患者への圏域外流出、救急患者の増大等、市民のいのちと健康を守るため改善が求められる。

総務文教常任委員会 災害弔慰金等支給審査会の設置へ

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】杉渕一弘／堀部 壽／板垣 淳／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、承認2件、条例案2件、予算案5件、単行議案1件、陳情1件の計11件でした。

専決処分承認を求めるとについて（令和6年度一般会計補正予算所管分）、委員から「定額減税に係る調整給付金の支給時期はいつか」との質疑があり、当局からは「支給業務については福祉課所管となっており、8月から給付の手続きを開始している」との答弁がありました。

また、災害復旧費におけるポンプ排水委託について、委員から「排水後の上流部からの流入状況及びその水量は」との質疑があり、当局からは「秋田県が設置している砂防ダムを経由し流れてきていると考えている。降雨時はそれなりの流量であるが、数値として把握していない」との答弁があり、さらに委員から「水量が不明とのことだが、金額の根拠は」との質疑に対し、当局からは「委託内容はポン

プのリース、稼働など作業のすべてを委託するもので、現段階では12月ぐらいまでの期間を想定した金額となっている」との答弁がありました。

また、北秋田市災害弔慰金の支給等に関する条例及び北秋田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「災害弔慰金等支給審査委員会の設置と委員報酬の規定の追加であるが、委員構成と報酬単価の根拠は」との質疑があり、当局からは「医師、弁護士を想定している。ほかの審査会の報酬を参考に算定している」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決。陳情は採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

（委員長 小笠原 寿）

市民福祉常任委員会 健康保険証はマイナ保険証へ

【委員長】永井昌孝 【副委員長】福田牧子 【委員】久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤重光／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案1件、予算案7件、単行議案1件の計10件でした。

北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「12月2日からマイナ保険証となり、マイナカードを持っていない方でも保険証の有効期限までは今の保険証で受診できるか」との質疑があり、当局からは「今回交付する保険証の有効期限は令和7年9月30日となっており、この期限までは医療機関で利用することができます。来年以降はマイナ保険証がない方に資格確認書を送付する」との答弁がありました。

令和6年度北秋田市一般会計補正予算のことも課の審査では、委員から「市内の各保育園、児童館、児童クラブに熊対策のスプレーを設置するとの説明だが、使用マニュアルなどがあるのか」との質疑があり、当局からは「このスプレーは、主に施設の敷地内に入ってきた熊を職員が施設内から撃退することを想定し、

各保育園、児童館、児童クラブにおいては安全計画を策定し、その中に使用方法等を盛り込んでいる」との答弁がありました。

令和6年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算について、委員から「新型コロナウイルスワクチンの接種費用について、対象者を何％程度見込んでいるのか」との質疑があり、当局からは「市全体の率としては50％程度だが、各診療所での見込数については、各診療所でのインフルエンザワクチンの実績をもとに実数で算定している」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について及び秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更についての2件は賛成多数により可決。そのほかの議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 永井昌孝）

産業建設常任委員会

道の駅たかのす関連予算について

【委員長】虻川 敬 【副委員長】松橋久敏 【委員】三浦倫美／佐々木正史／福岡由巳

当委員会に付託された案件は、承認2件、条例案1件、予算案3件、単行議案1件、請願1件の計8件でした。 今回の審査では、令和6年度北秋田市一般会計補正予算の審査における道の駅たかのすの調査測量設計委託149万4千円、用地補償調査委託148万9千3百円について多くの質疑がありました。委員から「用地補償の内容はどのようなものか」との質疑があり、当局からは「当初の基本計画では予定していなかったが、モンベル参入により用地の不足が想定され、用地の調査補償費を計上している。また、ぶっさん館が市の公共事業に関する支障物件として補償費が必要になる想定から、移転補償費についても調査費を計上している」との答弁がありました。採決では「道の駅たかのすに関する予算に対し、民間事業者所有の建物の建て替えも含む予算であり、市の公共施設として民間事業者との事業の在り方に疑問。

アウトドア拠点として最適な場所なのか疑問。道の駅たかのすにモンベル直営店を持つてくる事が目的化となつていく計画ありきでの調査費に反対する」との反対討論があり、賛成の立場では、「道の駅たかのすが老朽化しており、改修をどうしていくかというの大きな問題。今後、具体的にどうするかというのは設計を見ないと判断ができないのではと感じている。財政計画や基本計画など問題があるわけだが、今後どうしていくかという点で道の駅たかのすに関する委託料については認めざるを得ないのではないかとこのことで賛成する」との討論がありました。 以上のような審査を踏まえ、令和6年度北秋田市一般会計補正予算は賛成多数で原案のとおり可決。そのほかの議案については全会一致で可決。陳情は採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

（委員長 虻川 敬）



閉会中の所管事務調査報告（抜粋）

総務文教常任委員会

8月5日に市内鎌沢地内の『あきたりフレッシュ学園』について調査を実施しました。

学園は県の委託を受けて市の教育委員会が不登校児童を対象に運営している施設です。不登校はゲーム機やスマホの普及に伴い近年急速に増え、非行や問題行動とは区別されております。「教育機会確保法」を受けて、学校復帰をゴールとしない多様な学びが実践されており、学園での適応指導教室は、通常の学校の出席と同じ扱いとして公立高校への調査書に反映する為、保護者の安心感も大きく、また、99種164余の体験活動は子供たちの自信にもつながっているとの事でした。（文責者：副委員長 五代儀義富）

市民福祉常任委員会

7月18日に『一般廃棄物処理の現状』について調査を実施しました。

最終処分場の延命を図るため、令和6年度から大型木質ゴミを長下処分場で破碎後、クリーンリサイクルセンターで焼却し、飛灰と焼却残渣を処分場に埋立。雨水等に溶け出した有害物質を処理施設で除去し河川へ放流。水質の異常値の検出はないとの報告でした。残余容積は17,417m³。もう一方の最終処分場は処理困難物を限定して埋立ており、残余容積は26,022m³。令和2年度から稼働している、し尿処理施設は1日あたり46kl、処理コストを節約できているとの報告でした。

（文責者：副委員長 福田牧子）

産業建設常任委員会

7月29日に奥阿仁の観光施設、「市道ブナ森線」、「安の滝林道と遊歩道」、「打当温泉マタギの湯」などについて調査を実施しました。

市道ブナ森線は、令和4年8月の豪雨により4箇所が路肩決壊などで通行止めになったが、復旧工事により、今年6月に1箇所が完成し、安滝林道入口までは通行可能となり、残りの箇所は今年11月末に完成するとの説明でありました。

打当温泉マタギの湯については、日帰り、宿泊客数とも回復基調にあるが、コロナ禍前の水準に達していない現状であるため、安定した経営ができるよう指定管理者と協議しているとの説明でありました。

（文責者：副委員長 松橋久敏）

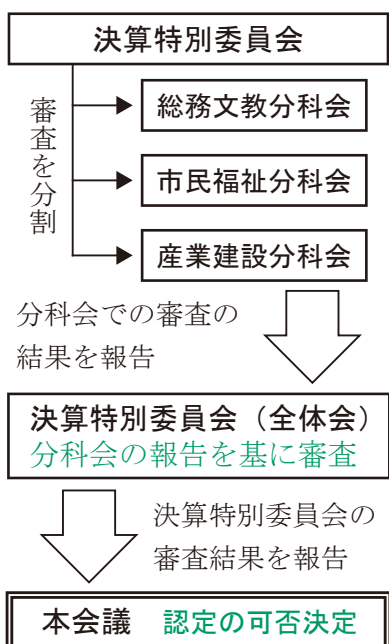
決算特別委員会

令和5年度 各会計決算を審査

今定例会には令和5年度各会計決算の認定19件が提出されました。

議会では、広範囲に及ぶ決算審査を専門的かつ効率的に行うため、9月3日の本会議において、議長と議会選出監査委員を除く15人の議員を委員とした決算特別委員会を設置しました。

審査の流れ



9月3日に委員会を開催
委員長に佐藤重光委員

9月3日に決算特別委員会を開催し、委員長と副委員長を互選したほか、より詳細な審査を行うため、審査は常任委員会を分科会として位置付けた「分科会方式」で行うこととし、分科会委員長は各常任委員長が務めることに決定しました。

〔委員長〕 佐藤 重光
〔副委員長〕 福岡 由巳
〔分科会委員長〕
総務文教 小笠原 寿
市民福祉 永井 昌孝
産業建設 虻川 敬

各分科会の審査の中で出された質疑及び答弁を要約してお伝えします。

総務文教分科会

委員 市長の給与について、

当市の財政規模は県内13市中8番目であり、市長給与は上から3番目である。高いと思わないか。

答弁 平成17年の合併協議会により決定され、北秋田市

特別職報酬等審議会の答申を受け議会に諮っているものであり、公正かつ適正な額であると考えている。

委員 歳入・歳出の収支残額が、令和4年度は約9億円、それ以前は7億円台であったが、今回は従前の2倍ほどの16億2千万円と急激に増えた。市長の見解は。

答弁 令和4年度から5年度に繰り越しをした分が約4億円、現年度分で約12億円となる。要因として、歳入は固定資産税や災害復旧費補助金の増などがあり、歳出は災害復旧事業や暖冬に

よる除雪経費などの執行残があり差額が大きくなったもの。16億円という額は予想以上ではあったが、特殊事情が重なったもので今後は減少していくと見込んで

いる。

委員 システム関連の支出について検証が可能か。また、必要に応じた抑制が可能か。それらに対応した指針が必要ではないか。

答弁 システム導入時には様々な議論を重ねた上で適正な入札等の方式により行っているが、システムの合理化等、より適正な財政運営に反映できるように指針の制定も含めて研究する。

市民福祉分科会

委員 民生委員・児童委員、

定数150名に対して欠員がある。現在の活動に支障はないか。今後の考え方は

答弁 欠員がある地域はほかの地域の方がフォローして対応しているが、フォローする方の活動も厳しくなり、支障がないとは言えない。1日も早く補充したい。来年度の改選期に向けて、欠員の補充、民生委員をやらめられる場合、その後継をしっかりと取り組む。

委員 保育園へ入所する子が減っているが、公立・私立の定数も含め、今後どのように考えているか。

答弁 私立保育園は、利用者の減少により、園で県に利用定員を申請し、助成については現状にあったものになっている。公立保育園は、認可定員と利用定員の乖離が課題だが、条例など法規等の整備が必要となるため、慎重に協議して進めている。



分科会ごとの市長に対する総括質疑

委員 介護保険サービス事業所の廃止について、廃止の理由や利用者への影響は。

善に努めたい。

委員 人員不足や運営状態によって廃止した事業所もある。利用者については、事業所が次の事業所までしっかりサポートする形をとっている。

委員 市民病院との協議や、その努力はこれから進めていくのか。

委員 人員不足や運営状態によって廃止した事業所もある。利用者については、事業所が次の事業所までしっかりサポートする形をとっている。

委員 市民病院の指定管理者とは、診療動向、収支や経営状況の打ち合わせの機会を毎月もっている。また、経営戦略会議を毎月開催し、医師確保について、医師の派遣を切らさず充実させていく。

委員 人員不足とのことだが、市では介護職員を増やすための方策は考えているか。

委員 北秋田市たかのす太鼓まつり補助金や合川ふるさとまつり補助金など、前年比で減額となっている理由は何か。

委員 高校3年生を対象にした介護職員初任者研修事業を行っている。この対象を広げるか検討していきたい。外国人の雇用に関しては、実際に法人のほうで受け入れをするなどの企業努力がされている。

委員 削減については、市全体の財源確保ということで一律行ったなかで対応したものである。削減前に各実行委員会に照会し、削減について大丈夫との御返事を頂いた上で削減をしている。引き続き、実行委員会の方々の声を伺いながら支援の在り方を検討してまいりたい。

委員 他圏域に流出している傾向がある。標榜している診療科は基本的に受診は可能だが、週に1〜2回の科もある状況。できるだけ改善

委員 マタギの里観光開発株式会社について、令和5年度の決算では依然として約1億6000万円の負債を抱えている。経営に関わって今後どのような対策を講じようとしているか。

委員 削減については、市全体の財源確保ということで一律行ったなかで対応したものである。削減前に各実行委員会に照会し、削減について大丈夫との御返事を頂いた上で削減をしている。引き続き、実行委員会の方々の声を伺いながら支援の在り方を検討してまいりたい。

委員 市では平成28年度から取締役として市職員を派遣し、同社の経営に一定程度関与してきた。今後は同社の取組みが経営改善提案書に沿って遅滞なく進んでいくよう積極的な伴走支援を行ってまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

委員 市内の公園について、各部署で管理している公園があり、維持管理に格差が生じているように考えられる。統一して公平な運営をすべきでは。

委員 公園管理においては、作られた経緯やそれぞれの公園の環境や規模、機能も異なり、管理経費に差があることはやむを得ない。全ての公園において安全性を第一に環境美化に努め、公平な公園運営を継続してまいりたい。

【本会議・最終日】

決算特別委員長の審査報告

委員長 佐藤 重光

本委員会に付託された事件は19件でありました。9月3日に決算特別委員会を設置し、総務文教分科会10件、市民福祉分科会8件、産業建設分科会3件について、9月12日、13日の2日間で審査を行い、9月20日に市長に対する総括質疑を実施しました。その審査の経過と結果について、ご報告いたします。

べきものと決しました。認定第17号「令和5年度病院事業会計決算の認定について」は、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第1号「令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について」は、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第18号「令和5年度水道事業会計決算の認定について」及び認定第19号「令和5年度下水道事業会計決算の認定について」の2件の事業会計については、全会一致で認定すべきものと決しました。

認定第2号「令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」から認定第16号「令和5年度大阿仁財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」までの15件の特別会計については、すべて全会一致で認定す



市政を問う！ 一般質問

一般質問は、9月5日・6日の2日間で行われ、7人の議員が登壇しました。

福岡 由巳 議員 (P8)

- ◆森吉山国立・国定公園化について
- ◆森吉山荘を再開することについて
- ◆「道の駅たかのす」のリニューアルについて
- ◆湯の岱温泉の環境整備について

板垣 淳 議員 (P9)

- ◆森吉コミュニティセンター建て替えについて
- ◆道の駅たかのすのリニューアル計画について
- ◆森吉山荘の再稼働について
- ◆マイナンバーについて

福田 牧子 議員 (P9)

- ◆障がい者福祉について
- ◆外国人労働者について
- ◆自治体のDX推進について

杉淵 一弘 議員 (P10)

- ◆農業生産振興について
- ◆公共施設管理について
- ◆防災体制の充実について

久留嶋 範子 議員 (P10)

- ◆記録的な猛暑から住民の命を守る取組みについて
- ◆市制20周年の取組みについて
- ◆子宮頸がん予防「HPVワクチン」について

三浦 倫美 議員 (P11)

- ◆災害対策について
- ◆スポーツ振興について
- ◆観光振興について

小笠原 寿 議員 (P11)

- ◆防災計画について
- ◆スポーツ振興について
- ◆観光振興について

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

福岡 由巳 議員

(無党派)



森吉山の冠は
絶対残すべき!

Q 環境省は一昨年、十和田八幡平国立公園の八幡平周辺を大規模拡張地域として森吉山を十和田八幡平国立公園に編入させるか、国定公園の新規指定にするかのいずれかにするとその選択肢を示した。国立公園への編入となれば「森吉山」の冠が消えることになり、現時点で冠を残すとすれば国定公園の新規指定を選択することになる。市長は森吉山の冠は消えてもよいとの考えか。それとも残すべきとの考えか。どちらであるか明確にされていないので伺う。

A 環境省には森吉山の名称に対する市民の思いは届けている。

Q 森吉山荘の再稼働計画によれば温泉、食事提供はなし。単なるコテージ。再稼働には国立・国定公

園化を見据え、奥森吉の宿泊拠点となるようにすべきでないか。

A 温泉と食事提供で施設運営していくことは大変難しい。宿泊環境を再検討する観点から進めたい。

Q 道の駅たかのすのリニューアルは、隣の道の駅ふたついと共に相乗効果を発揮するグレードの高いワクワク感を醸す機能が求められる。中途半端であってはならない。

A 道の駅たかのすはアウトドア拠点機能を追加し、今以上に魅力ある道の駅を目指す。

Q 湯の岱温泉は男女1日交替の悪条件でも固定客は多い。早急に整備改修すべきでないか。

A 近隣に民間の温泉施設もあり、行政による温泉施設運営は一定の役割を終えていると判断している。



利用者の改修要望が根強い

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



森吉山荘は

本格稼働を!

Q 森吉コミュニティセンターは老朽化しており建て替えが必要ではないか。

A 地域住民との意見交換会を開き検討する。

Q 道の駅たかのすのリニューアルに13億9000万円もかけるのは高すぎるとして再検討したはずなのに、出てきた案はもっと費用をかけるというもの。とても認められない。費用対効果が少なく、市の活性化にもつながらない。再度検討を。

A アウトドア拠点機能を追加することにより、森吉山を中心とした滞在型観光も推進でき、広域観光や住民の憩いの場として期待できる。

Q 森吉山荘の再稼働は住民や市議会が求めてきたことなので歓迎す

る。しかし、温泉も食事の提供も行わないのが市の方針。シャワーだけだと風邪をひく。食事できない宿泊施設が歓迎されるわけがない。再考を。

A 様々な事情を考慮し温泉と食事提供は難しいと判断したが、幅広く可能性を探っていきたい。

Q マイナンバーカード取得は任意なので、持っていない人も不利益をこうむらないよう配慮する必要がある。紙の保険証を残すよう国に働きかけを。

A デジタルが不得意な方もいるので行政手続きなどで不利益をこうむらないよう配慮する。国への要請については秋田県市長会や全国知事会で提言した。



簡易型宿泊施設として再稼働を検討

福田 牧子 議員

(公明党)



障がい福祉・外国

労働者・DX推進

Q 障がい者等の「親なき後」に備え、地域で支える地域生活支援拠点「あいライン」が合川庁舎敷地内に開所。支援体制整備にかかる市の支援は。

A ハード面で土地の無償貸与、建設費の一部補助。ソフト面では、1年に一回の協議会で運営状況を検証・検討し、利用者にとって効果的に機能する支援体制の構築を図るのが支援内容。緊急対応の体制整備やコーディネータの配置については、今後取組を進める。

Q 障がい者福祉の課題について、アンケートに約半数が応えていない。現状の把握には直接訪問して直接観て聴く事が必要では。

A 今回のアンケートの反省も含めてそのように心がけていきたい。

Q 少子高齢化による人材不足の深刻化、外国人材受入れに関する取組みと方向性は。行政側支援として日本語教育の補助の考えは。

A 受入れに関するセミナーを計画。住居費用、研修、マニュアルなど多言語対応など検討。

Q 自治体DXの推進は業務効率化を図り、人的資源を住民・行政サービスの向上につなげる意義がある。

①国からの支援策を活用する予定は。

②フロントヤード（行政窓口）の課題と改善の方向性は。

A ①総務省派遣事業、地域情報化アドバイザーを9月から活用。

②「書かせない」「待たせない」「迷わせない」「行かせない」DX改革推進の中で職員の引継ぎも職員研修の中で取り組む。



合川に開所した「あいライン」

杉渕 一弘 議員

(新創会)



秋田比内地鶏の生産羽数増を

Q 秋田比内地鶏の生産羽数増に向け、新規生産農家のための方策や、経済的負担軽減の拡大を図ってほしい。

A 本市においては、令和元年9万3700羽であった飼養羽数が、コロナ禍による需要の減少や飼養農家の高齢化により、令和4年には約6万羽と生産羽数が減少している。新規を含む生産農家への方策としては、経営発展支援事業や夢ある畜産経営ステップアップ事業の活用により、施設整備及び資材購入等に対する助成を行っている。

また、秋田比内地鶏素びな購入助成や鳥インフルエンザの初期予防のための消毒資材の購入助成の継続を図っており、今後も生産者と協議をし取り組む。



比内地鶏 飼育者求む

Q 公共施設等総合管理計画について、解体費及びその財源をどう考えているか。

A 現在の解体工事単価を基に目標値である10・2万平方メートルを解体した場合、総額97億円となる。現在、安定的な財源を確保するため、市公共施設解体基金(仮称)の検討を進めている。

Q 旧合川北小学校の方向性について、文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」に掲載。廃校舎を活用してくれる事業者等を引き続き募集しているが、施設の老朽具合や近隣への影響等を考慮しながら、危険度が高くなったときは解体を検討していく。

A 文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」に掲載。廃校舎を活用してくれる事業者等を引き続き募集しているが、施設の老朽具合や近隣への影響等を考慮しながら、危険度が高くなったときは解体を検討していく。

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



記録的な猛暑から住民の命守って

Q 異常な暑さが常態化し、熱中症の患者も増えている。今後の対策について3点伺う。①新学期が始まったが、児童・生徒への対策は②高齢者世帯等エアコン設置事業の拡充について。③災害時の避難所での暑さ対策について。

A ①小中学校と義務教育学校の普通教室にはエアコンが設置されている。熱中症指数などで状況を確認。②今年度から65歳以上の住民税非課税世帯を対象に支援事業を実施し、146世帯に交付決定をした。制度の拡充は考えていない。③冷房が整備されている所を優先的に開設、民間施設の活用も検討している。

Q 市制施行20周年記念事業に若者と語る企画など市民参加型の取組

みはどうか。

A 学生を対象とした「市長と語るタウンミーティング」は例年どおり開催を予定しており、20周年という枠組みにとらわれず、市民と語り合う企画を検討していく。

Q 子宮頸がん予防「HPVワクチン」について。公費による接種は来年3月末で終了するため、1回目の接種は9月末までに受ける必要があるが、当市での接種への取組みは。

A 17歳から27歳までの女性で、令和4年度以降最大5回にわたる個人通知による接種勧奨を行っているほか、7月には、9月までに接種を行わないと助成対象期間内に3回接種が完了しないことを再度通知。ほかにも市の広報やホームページ、健康ガイドなどで周知し、接種者は増加している。



市制20周年ロゴマーク完成

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



災害対策河川改修

農業被害復旧急務

Q 県管理の小阿仁川と羽根山沢川河川改修促進へ、地域・市・県との連携強化へ継続的な取り組みを。

A 県のご尽力の下、三木田工区で築堤工事等が計画に沿って着実に推進していると認識している。引き続き、小阿仁川水系対策委員会や地元自治会と連携し、残り区間の早期整備を要望していく。羽立自治会からのしゅんせつ、雑木等除去の要望を県に伝え、市も強く要望する。

Q 7月大雨農業災害復旧支援策は。市独自で農業用施設災害緊急支援事業を実施。(用排水路確保の重機や水中ポンプ等機械借上げに100%補助) 国の農地・農業用施設災害復旧事業や県単小災害復旧事業等を活用し復旧を



堤防決壊し土砂に埋まる稲

進める。農地・農業用施設災害復旧事業分担金について、農地5%、農業用施設2%の分担金率を2分の1として農家負担の軽減を図り、営農継続再開を支援する。

Q 住家被害への支援制度拡充を。

A 今年から床下浸水へ支援金支給。

Q 阿仁スキー場までの道路復旧は。

A 応急対策工事を実施し、交互片側通行で9月9日から通行可能見込み。

Q 能登半島地震被災地支援体制は。

A 総務省の応急対策職員派遣制度、対口支援団体の秋田県からの要請。七尾市に2名派遣。罹災証明書発行支援業務に従事。経験を市の災害マニュアル作成等に取り入れる。

Q 市民プール2階、トレーニングルームのトレーニングマシンの修理を。補正予算成立後、速やかに対応。

Q 阿仁スキー場のゴンドラ修理は。仮復旧で紅葉時期再開へ努力中。

小笠原 寿 議員

(清明会)



災害時に備えて

井戸の登録制度を

Q 長期の断水が続いた能登半島地震では、民家などの井戸が水確保に効果的であったとされる。トイレなどの生活用水として有効な代替水源となる「災害時協力井戸」の登録制度の実施を。

A 「災害時協力井戸」の登録制度は今後、国交省が策定予定の自治体向けガイドラインや他自治体の事例を参考に検討していく。

Q 比較的新しいオリンピック種目で若者に人気のあるスケートボードなどができる「ボードパーク」を県と連携して建設できないか。

A 県内外の自治体での手法や利用状況などを調査するとともに、国や県との連携も含め整備の可能性について研究していく。

Q 森吉山ダム「四季美湖畔公園」



ボードパークで地域おこし (写真=新潟県/村上市スケートパーク提供)

に森吉山周辺の情報発信を行えるツーリストセンター機能を備えた「ビクターセンター」、カヌー・カヤックを楽しめる「アウトドアフィールド」、愛好者のためのシンブルで快適な「宿泊施設」、併設して「キャンプ場」と「シャワー施設」の建設計画を国・県と連携して行えば「複合型アウトドアビレッジ」として県内外から人気を博すと思うが、市長の考えは。

A 夢のある構想だが、四季美館や妖精の森といった施設も整備されており、森吉山荘の再稼働も含め、まずは既存施設の有効活用が重要と考える。滞在型観光推進に向け、モンベルや地元事業者と連携を図り、森吉山国立・国定公園化を見据えて計画的に進めていく。

議会運営委員会

鶴ヶ島市・坂戸市を

視察研修

調査項目

- ▽予算決算特別委員会について
- ▽一般質問の実施について

議会運営委員会では、7月11日に埼玉県鶴ヶ島市、坂戸市で予算決算特別委員会の設置運営や一般質問について所管事務調査を実施しました。

これらの進め方については、各自治体で様々であります。

両市では、予算決算常任委員会を設置し、全委員（一部、議長・議会選出監査委員を除く）が一同に審査を実施しておりました。

特に、坂戸市では、平成22年3月まで分割付託方式により審査されてきましたが、各常任委員会での審査結果が異なると同一議案で賛否が異なるという矛盾が生じることになるなどの課題を解消するため、平成26年6月より、各常任委員会における審査を充実させることを目的に予算決算常任委員会

を設置したとの説明を受けました。一般質問については、質問方式が一問一答方式のみで、質問時間は45分か60分の選択制。発言席は、質問者及び説明員とも1回目は登壇し、2回目以降、議員については質問席にて、説明員については自席にて行うとしておりました。発言方法は、議員は質問事項（大項目）ごとに通告した質問要旨を1回目ですべて質問していくとし、説明員は通告を受けた質問要旨を質問事項ごとに1回目で答弁しておりました。2回目以降は、質問事項ごとに通告した質問要旨について、より深く一問一答方式で行っていくとの説明がありました。

今回の両市の取り組みを参考に当市の議会改革へと取り組んで参ります。

（文責者…委員長 杉淵一弘）



坂戸市での視察の様子

広報広聴特別委員会

一関市を視察研修

「キーワードはTTP」

一関市、改革への取組み

市内の若者団体や高校、短大を対象にして「まちの未来、夢や希望について語ろう」とワールドカフェ方式で懇談会を開いた街へ行って来ました。

ワールドカフェとは、会場内にくくつかのテーブル席を設けて、それらをいろいろな国々に見立て、世界旅行をするかのように各テーブルを移動し、あたかもカフェでくつろぐかのようにリラクセスして話し合うという形式を、そう呼んでいると説明を受けました。

参加者がそれぞれのテーブルで見聞きした問題点や解決に向けたアイデアを別のテーブルへ行って自分なりの感想を加えて話すことにより、取り組むべき課題はより多方面からの検証が加えられ、深く掘り下げられるという事になるのだそうです。一関市議会はこのようにして市民からの意見を取り

入れてきました。その中でも中心的役割を担ってきた広報広聴委員会は常任委員会として設置され、年間19日の会議開催日数で議会運営委員会の27日に次ぐ活動量を以って、広報リニューアル・政策提言・政策検討会議・通年議会・オンライン会議・AI翻訳・デジタル化・議会モニター・そして懇談会と、多くの課題に取り組んできたと広報広聴委員長は語りました。そのキーワードは「TTP」です。「徹底的にパクリ」の頭文字を取って「TTP」。他所でやっていることで、これは、と思う事はとにかく真似てみる。やってみて不都合なところは自分達に合わせて修正すればいいんです。議会改革には実用新案も特許もありませんから、と。

（文責者…委員長 五代儀義富）



一関市議会の広報・広聴活動を学ぶ

第2回 市議会全員協議会

- ・「道の駅たかのす」について
- ・「森吉山荘」について



第2回全員協議会が8月9日に開かれ、「道の駅たかのす」、「森吉山荘」の2件について、当局から説明があり、協議が行われました。

—道の駅たかのすについて—

令和4年1月に基本計画を策定した「道の駅たかのす」のリニューアルについては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、施設整備に慎重さが求められる状況が続いていた一方で、アウトドアへの関心の高まりを背景に、令和5年2月に株式会社モンベルと包括協定を締結。令和6年3月に策定した「北秋田市アウトドアグランドデザイン」において、アウトドア拠点施設の整備の必要性が示されたことから、「道の駅たかのす」にアウトドア拠点機能を追加するため、基本計画を改訂することについて説明がありました。

改訂の概要では、道の駅自体の目的地化を明確に打ち出すため、基本コンセプト及び施設の整備方針を見直すことや、施設整備基本計画に大幅な変更を要することから、調査・測量設計等の経費を計上、モンベル社との直営店進出にかかる基本合意の締結、施設の配置計画の策定及び概算事業費の算定等を行うとの説明や、ほかにも管理運営基本計画について、管理運営主体とモンベル社の連携強化等を追記し、管理運営主体の選定を公募によることとするなどの説明がありました。

—森吉山荘について—

森吉山荘については、令和4年度に休止してから民間譲渡に向けた譲渡先の募集を行ってきたところですが、応募がない状況となっています。

森吉山荘を取り巻く環境については、森吉山の国立・国定公園化に向けた動きなどもあり、奥森吉地区の重要性が高まっていることや、観光消費の拡大を図る上で宿泊施設不足などの声もあることから、森吉山荘の今後の再開の可能性について、当局では、①更なる条件緩和による民間譲渡、②休止前と同様の機能を確保し営業を再開、③本館のみを活用し、温泉や食事提供なしの簡易型宿泊施設として再開、の3案を検討。その中でも、①と②は、譲渡の不確実性や温泉水供給に対する不安、高額な改修費や従業員の確保が困難な点もあり、③として稼働する案について説明がありました。この場合、お風呂はなく供用のシャワールームを使用、宿泊はセルフチェックイン・アウトでDX化を図ることで人員不足の解消とランニングコストの低減を図り、飲食は自動販売機や持ち込みをお願いすることで、温泉旅館型から簡易宿泊型の施設へと変更し、アクティビティ活動が盛んな若中年やファミリー、インバウンドの方などをターゲットに再稼働していきたいとの説明がありました。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 小林 久美子	採択	提出
小阿仁川堤防工事の促進を求める請願	鎌沢自治会 会長 鈴木 貞幸 雪田自治会 会長 伊東 雅晴 杉山田自治会 会長 杉渕 敬輝	採択	提出

市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。お待ちしております。

次の定例会は12月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷総務文教（阿仁庁舎）
- ▷市民福祉（森吉庁舎）
- ▷産業建設（合川庁舎）

議会の動き

<7月16日～10月15日>

7月

- 17日・広報広聴特別委員会
・北秋田市首都圏企業懇談会
- 18日・市民福祉常任委員会所管事務調査
- 22日・広報広聴特別委員会所管事務調査（～23日）
・秋田県市議会議長会定例会（～23日）
- 25日・秋田県市議会議長会県選出国會議員への実行運動
- 29日・産業建設常任委員会所管事務調査
- 30日・秋田県北部地域夏期合同中央要望活動

8月

- 2日・議会運営委員会
- 5日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 8日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会8月臨時会
- 9日・第2回全員協議会
・広報広聴特別委員会
・秋田県北部市議会連絡協議会正副議長・事務局長会議
- 14日・合川まと火、合川ふるさとまつり
- 15日・北秋田市二十歳の集い
- 18日・第18回北秋田市民俗芸能大会
- 20日・北秋田市消防署阿仁分署新築工事起工式（安全祈願祭）
- 22日・議会運営委員会
- 23日・北秋田市戦没者追悼式
・秋田県遺族連合会北秋田郡市戦没者遺族地方大会
- 26日・議会運営委員会
・広報広聴特別委員会
- 28日・令和6年度小阿仁川水系対策委員会総会及び小阿仁川流況調査

9月

- 2日・北秋田市民病院運営懇話会
- 3日・9月定例会（初日）
・決算特別委員会全体会
・広報広聴特別委員会
- 5日・本会議 一般質問①
- 6日・本会議 一般質問②
・議会運営委員会
- 7日・第20回北秋田市発明工夫展表彰式
- 8日・令和6年度秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練
- 9日・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 12日～13日
・決算特別委員会分科会
└ 総務文教分科会
└ 市民福祉分科会
└ 産業建設分科会
- 14日・第22回北秋田市縄文まつり
- 20日・決算特別委員会各分科会総括質疑

議会報告会 を開催します

【日時】 11月17日（日） 10時～12時

参加の申込みは不要です

開かれた議会及び議会活性化を推進するため、議会報告会を開催し、議会の活動状況をはじめ、特に議論となりました話題などについて報告します。

参加の申込みは必要ございませんので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

※昨年と場所が変更している地区がありますので、ご確認ください。

テーマは、「災害対策について」

A班 <班長>長崎克彦
<班員>福田牧子／三浦倫美／虻川 敬

森吉地区 [会場] 四季美館

B班 <班長>永井昌孝
<班員>杉渕一弘／中嶋洋子／板垣 淳

阿仁地区 [会場] 阿仁公民館
(阿仁ふるさと文化センター)

C班 <班長>久留嶋範子
<班員>佐々木正史／佐藤文信／小笠原 寿

鷹巣地区 [会場] 北秋田市交流センター

D班 <班長>佐藤重光
<班員>松橋久敏／福岡由巳／五代儀義富

合川地区 [会場] 合川公民館

9月

- 25日・決算特別委員会全体会
- 27日・9月定例会（最終日）
・議会運営委員会
- 30日・八戸・能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会合同要望

10月

- 2日・森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟研修会
- 9日・全国市議会議長会研究フォーラム（～10日）
- 11日・広報広聴特別委員会
- 15日・北秋田市花だんコンクール表彰式

広報広聴特別委員会

委員長 五代儀義富
副委員長 松橋久敏
委員 福岡由巳
委員 久留嶋範子
委員 中嶋洋子
委員 長崎克彦